

感じあう心たいせつに

feelin' YAMAHA



YAMAHA DIGITAL SYNTHESIZER

EOS

みんなが僕に近づける。僕もみんなに近づける。

# 僕に、もっと近づいておいでよ。

ヤマハ・デジタル・シンセサイザーEOSは、まったく新しいコンセプトが魅力なんだ。  
EOSは“Entertainment Operating System”。誰にでも、やさしい操作で演奏や音づくりが楽しめるんだ。  
好きな曲を弾いている時も、音を創っている時も、きっと友達みたいな関係になれると思うよ。  
Let's EOS! 僕と君の音楽空間。  
もっと素敵に、もっと大きく広がっていくといいな。



## 高性能がぎゅー。しかも、オペレーションはやさしく。それがEOSのポリシー。

### Sound FM音源にエフェクトをカップリング。ソフィスティケートされたデジタル・サウンド。

- FM** デジタルFM音源  
プロフェッショナル機DXシリーズの血統を受け継ぐデジタルFM音源方式を採用。耳を打つ、ハートを揺るがす。品位の高さに思わずひきこまれてしまう、眩しいサウンドです。
- DSP EFFECT** デジタル・エフェクト  
コンテンポラリーなエフェクトを10種類も内蔵。ヤマハ独自の最先端DSP技術を凝縮した洗練されたエフェクトばかり。音色ごとに多彩なサウンド・メークアップが楽しめます。
- DIGITAL DLY** デジタル・ディレイ  
DS55に内蔵。ディレイは、最もビジュアルなエフェクトのひとつ。奥ゆき感や“やまびこ”のような効果をだしたりと、音色ごとにサウンド・メークアップが楽しめます。
- VOICE CARD** 音色ソフト  
世界のトップ・プログラマーたちがEOSのためにつくった最新の音色を、カードにぎゅーりつめこんでリリース。プレイ&エディットの楽しさを広げる、強力なアイテムです。
- 300 PLAY** 300音色プレイOK  
B200/YS200/YS100ではプリセット、ユーザー・メモリー、カード各100、DS55ではプリセット200+ユーザー・メモリー100と、計300音色を使って演奏が楽しめます。

### Edit シンプル操作で自由に音づくり可能。EOSだけのイージー・エディット機能。

- EASY EDIT** イージー・エディット機能  
インテリジェントなシンセサイザー・テクノロジー。これまでのシンセサイザーでは考えられなかったシンプル操作を実現。イメージどおりのサウンドを自由にクリエイトできます。
- 40/2 DISPLAY** マルチ・メッセージ・ディスプレイ  
クラス初、40文字×2行の見やすい大型ディスプレイ装備。スーパー・フレンドリーな対話式オペレーションにより、いっそうスピーディかつ合理的なデータ入力がおこなえます。
- 100 MEMORY** ユーザー100音色メモリー  
つくった音色も、しっかり保存。オリジナルな音色は、本体メモリー・メモリーに100種類までストックしておくことができます。また、いつでも呼びだして演奏が楽しめます。
- MEMORY** メモリー・カード  
本体でエディットしたオリジナルな音色を、手軽なメモリー・カード(別売MGD32)に100種類まで保存しておくことができます。また、いつでも呼びだして演奏が楽しめます。

### Performance 弾くたびに、使いこなすほどに面白くなる。本格的な演奏機能、満載。

- SPLIT** スプリット・プレイ  
低音域でベースを弾きながら高音域でピアノをプレイ演奏するなど、鍵盤の低音域と高音域に別々の音色を選んで演奏可能。低音域と高音域の境目も自由に設定できます。
- DUAL** デュアル・プレイ  
鍵盤上に2つの音色をミックスして、ふ厚い音色で演奏が楽しめます。重ねる2つの音色のチューニングを微妙にずらし、コーラス効果を得ることもできます。
- ENSEMBLE** 8音色同時発音  
鍵盤上に最大8種類の音色を割り当て可能。ストリングスやブラスのアンサンブル、マルチ・パーカッションなど、イメージティブなアンサンブル・プレイが台で楽しめます。
- INITIAL** イニシャル・タッチ  
鍵盤を弾くタッチの強さ・弱さにより、フォルティシモからピアノシモまで、音の強弱を自由に表現可能。指先へプレイのテンションをストレートに投入し、演奏が楽しめます。
- AFTER** アフター・タッチ  
B200/YS200に装備。超本格的な鍵盤タッチ機能です。鍵盤を弾いたあと、その鍵盤をさらに強く押すことにより、音色にビブラートやトレモロ、ワウ効果などを加えられます。
- SPEAKER** スピーカー  
B200に搭載。独自開発の新技術を採用し、小型ながらも充実の超低域再生・大音量を実現。キーボード・アンプやオーディオ機器に接続する手間がなく、すぐにプレイできます。
- LINE IN** ライン入力端子  
B200に装備。お手持ちのラジカセやCDプレーヤー、またはリズム・マシーンなどを接続可能。本体スピーカーで好きなミュージシャンの曲を聴きながら、鍵盤演奏が楽しめます。
- CONTROLLER** コントローラー  
ピッチ・ベンド・ホイールおよびモジュレーション・ホイール装備。演奏中、リアルタイムで音程を変化させたり、ビブラート、トレモロ、ワウ効果などを加えることができます。
- CONTROLLER** 別売コントローラー対応  
別売のフット・コントローラー、フット・スイッチ、プレス・コントローラーなどを接続可能。息で音量を調整したり、足もとでサステインや音量をコントロールできます。
- DEMO PLAY** デモ演奏  
EOSの自己紹介＝デモ演奏を内蔵。グレード高い音色とパフォーマンスの魅力、すぐさま体験できます。店頭で、ぜひお聴きください。※DS55はオート・パフォーマンスのデモ演奏を内蔵。

### Creative Function もっとアクティブに。シンセサイザーの楽しさを広げるニュー・クリエイティビティ。

- SEQ MULTI TRACK** マルチトラック・シーケンサー  
演奏を録音/再生できる自動演奏機能搭載。8トラック構成、記憶音数=約10,000音(最大8曲)と本格的。編集機能も充実・多彩。作曲やアレンジを、心ゆくまで楽しめます。
- AUTO PERFORMANCE** オート・パフォーマンス  
多彩で本格的なプリセット・シーケンス・パターン(自動演奏データ)をバックに、鍵盤演奏OK。気ままにソロ・プレイを楽しんだり、作曲のリズム・ガイドや編曲にも活用可能。
- MIDI** MIDI対応  
もう1台のEOSやリズム・マシーンなど、他のデジタル楽器とシステム・プレイ可能。シーケンサーの再生音源とした場合には、最大8音色のアンサンブル再生が楽しめます。

「ルックスも素敵だよ。TMのステージの雰囲気ともビジュアル的にぴったりだし」  
(TM NETWORK ツアー「CAROL」/4月25日・日本武道館)

## 小室哲哉のベスト・フレンドEOS

僕にとってEOSは、新しい曲想を練っている時はもちろん、ステージ・プレイにも欠かせない存在なんだ。

「EOSセミナー」ではEOSの楽しさを分かりやすくレクチャーしてくれた。「音づくりも簡単だし、EOSはシンセを始めたい人には絶好だと思うな」  
(TM NETWORK ファン感謝イベント 4月2・3日・合歡の郷ホール)

EOS YS200を弾きながら「EOS DAY Theme」を作曲・録音中。「スタジオではYS200を使うことが多いんだ」  
(4月15日・YAMAHA R&D TOKYOスタジオ)





**YS 200** メーカー希望  
小売価格 **¥120,000** (税抜き  
価格)



リア・パネル※YS200/YS100共通です。



**YS 100** メーカー希望  
小売価格 **¥102,000** (税抜き  
価格)

## 人気爆発のトレンド・セッター。進化したサウンド&オペレーションで まったくあたらしいシンセ・ストーリーを拓いた、ベーシックEOS

●YS200/YS100は“DXを継承した高性能をやさしくプレイ/コントロールできる”というEOSポリシーを斬新なルックスにフィーチャーした、シリーズのベーシック・モデルです。●まず、人気のイージー・エディット機能。音色パラメーターのリファイン、クラス初の大型ディスプレイやデータ入力用テン・キーの採用、扱いやすい操作キーの配列など、これまででは考えられなかったシンプルな操作性を達成し、シンセの音づくりの常識を鮮やかに一新しました。●サウンドの高品位さは、プリセット100音色に明らか。DXゆずりのFM音源にデジタル・エフェクトをプラスし、洗練さを極めました。内蔵エフェクトはリバース、ディレイ、ステレオ・エコーなど10種類。ホールの臨場感をシミュレートしたり、音に広がりや奥ゆき感を与えたり、ライブ演奏やレコーディングで存分にサウンド・メイクアップ可能。音色ソフト(別売ボイス・カード)もリリース中です。●演奏機能も充実。スプリット演奏や最大8音色同時発音など、1台で多彩なアンサンブル演奏がOK。イニシャル・タッチに加え、YS200はアフター・タッチも装備と、鍵盤タッチも抜群。さらにYS200はマルチトラック・シーケンサーも搭載し、本格的なアンサンブル自動演奏が1台で楽しめます。



YS専用ソフトケース  
SC-YS1 ② ¥5,500 (税抜き)

### EOS Friendly Operation

#### EASY EDIT

(シンプル操作で気ままに音づくりが楽しめる、  
イージー・エディット機能)

●EOSの音づくりには、5つのメニューを用意しました。  
①音が鳴りはじめてから消えるまでの音量と音色の変化を設定するEG、②音色を決めるTONE、③ピブラートやトレモロの効果を加えるLFO、④アルファベットや数字を使って名前を書き込むNAME、⑤10種類のプリセット・エフェクトから1つを選び、多彩なサウンド・メイクアップが楽しめるEFFECTなど、たいへんシンプルです。●音づくりの方法も簡単。①エディット・キーを押して各メニューの画面を呼び出す→②音色パラメーター(音づくりの要素)のデータをテン・キーなどで入力する、という操作でOKです。

■音づくりの画面例(B200/YS200/YS100)



※TONEのエディット画面。“Input-4Nos!”は4ケタの数字を入力するたびに音が変わるユニークなパラメーター。遊び心で音づくりが楽しめます。

#### SEQUENCER

(本格的なシーケンス・プレイが楽しめる、  
マルチトラック・シーケンサー)

●EOS(B200/YS200)のシーケンサーには8つのトラックを用意。トラック(パート)ごとに音色を選んで次々と多重録音していけば、最大同時8パートのアンサンブル自動演奏が楽しめます。●録音の方法は、鍵盤を弾いた演奏をそのまま録音できるノーマル録音、1音符・1和音ずつ楽譜を書くような感覚で録音できるステップ録音の2種類。やさしいフレーズはノーマル録音で、難しいオブリガートなどはステップ録音でどうぞ。ミス・タッチの修正に便利なパンチ・イン録音も用意しました。●指定した小節間のコピー、消去、削除、挿入、さらにトラック単位のミックス・ダウンなど編集機能も充実していますので、スピーディに曲を仕上げられます。●演奏データは、曲で使った音色、テンポなどのデータとともに、本体内またはメモリー・カードに保存可能。再生時にはそれらの演奏設定も自動的にセットされるため、すぐにプレイできます。

■シーケンサーの画面例(B200/YS200)



※ステップ録音の画面。上段の小節カウンター(1小節分)を見ながら録音できます。画面は1拍目と2拍目を録音済み(◆記号)、これから3拍目に8分音符を録音するところです。

#### AUTO PERFORMANCE

(プリセット・シーケンス・パターンをバックに  
鍵盤演奏が楽しめる、オート・パフォーマンス)

●オート・パフォーマンスではC1~C2の1オクターブの鍵盤が自動伴奏用となり、左手で伴奏パターンを次々と演奏させながら右手でソロ音色をメロディ演奏可能。テンポやキー、ソロ音色は自由に設定できます。●オート・パフォーマンスには3タイプ(合計43タイトル)を用意しました。  
①パターン・チェンジ・タイプ:代表的な音楽ジャンルを17タイトル用意。C1~C2の1鍵ごとにリズムやアレンジのことなる本格的な伴奏パターンが割り当てられています。C#1を押すとイントロ、C1を押すと基本パターン、F#1を押すとサビ用パターン、D#1を押すとエンディング・パターン、というように、パターンを組み合わせることで曲づくりが楽しめます。②キー・シフト・タイプ:14タイトルごとに1種類のパターンを用意。たとえば演奏キーをCにした場合、C1を押すとオリジナル・キーのC、F1を押すとF、と同じパターンを半音単位に移調させながら演奏できるため、作曲のリズム・ガイドに最適です。③アルペジオ・タイプ:12種類のなかから選んだ1パターンをオート・アルペジオで伴奏可能。「C1・E1・G1」を同時に押すと「ド→ミ→ソ」というように、C1~C2で押さえたコードをアルペジオ演奏します。

※DS55のみ

# YAMAHA DIGITAL SYNTHESIZER EOS

はじめてみない？  
僕のEOS



**B 200** メーカー希望小売価格 **¥137,000** (税抜き)



**DS 55** メーカー希望小売価格 **¥79,000** (税抜き)



リアパネル

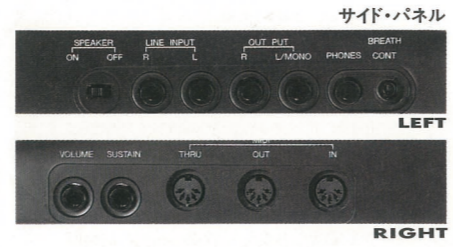


## このまま遊べる、楽しめる。好きな曲といっしょに、プレイできる。高音質2ウェイスピーカー搭載の、オールマイティEOS

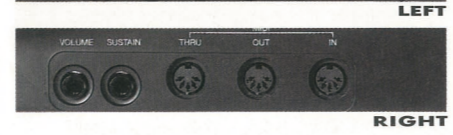
●ステレオスピーカー搭載により、キーボード・アンプやオーディオ機器に接続する手間がなく、マイルームで気のむいたときにすぐにも演奏が楽しめます。新開発の技術を採用し、量感たっぷりのパワフルな重低音を実現。繊細な高音とともに、EOSサウンドをアウトプットします。さらに、サイドパネルにライン入力端子(ステレオ)も装備。お手持ちのラジカセやCDプレーヤー、リズム・マシンなどを接続すれば、本体スピーカーでモニター可能。好きなミュージシャンの曲を聴きながら、また、リズム・マシンの演奏に合わせて、鍵盤プレイをどうぞ。●すぐに演奏が楽しめるプリセット100音色は、定評のFM音源に、ヤマハ独自の最先端DSP技術を凝縮したデジタル・エフェクトをプラスし、高品位なもの。EOSならではのイージー・エディット機能により、プリセット音色をもっとシンプル操作で音づくりできます。別売音色ソフト(ボイス・カード)をもっと音づくりすることも可能です。●パフォーマンスの能力も、秀逸。スプリット演奏、8音色同時発音と、1台でもアンサンブル演奏OK。イニシャル・タッチ、アフター・タッチ装備と、鍵盤タッチ機能も本格的です。さらに、マルチトラック・シーケンサー搭載。憧れのシーケンズ・プレイへ即トライできます。デモ演奏は4曲を内蔵。ファッショナブルなルックスが、パフォーマンスの楽しさをいっそう加速します。



B200専用ハードケース LC-B200 ¥16,000(税抜き)



サイドパネル



◎:メーカー希望小売価格です。

## 一挙に200音色をプリセット。ニュー感覚のオート・パフォーマンスも搭載。高性能をここまで身近にしてしまった、スーパー・カジュアルEOS

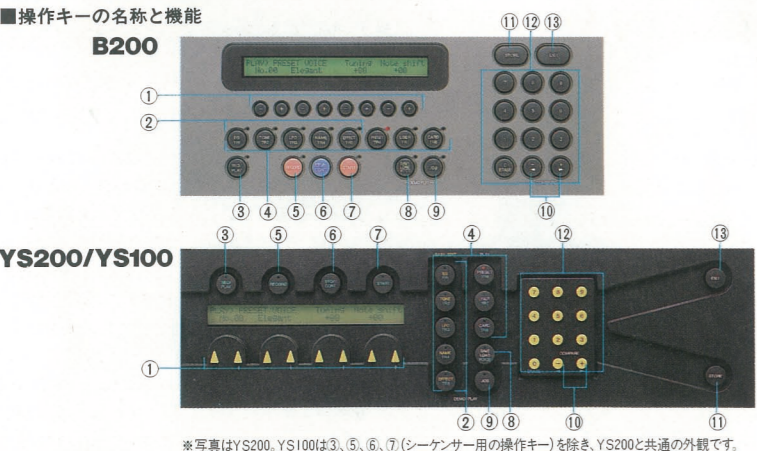
●DS55は、EOSシリーズのプランニュー・モデル。魅力的なプライスを実現し、高性能シンセサイザーEOSがいっそう身近になりました。●まず第一の特長は、一挙に200種類もの音色をプリセットしたこと。自然楽器系、シンセ系、S.E.系など、いずれも兄機B200/YS200/YS100で好評の高品位な音色。広大無辺なデジタル・サウンド空間で、心ゆくまでプレイしてください。そして、シンセサイザーの楽しさをワイドに広げる最新機能=オート・パフォーマンスを搭載。多彩なプリセット・シーケンス・パターン(自動伴奏パターン)をバックにメロディ演奏可能。気ままにソロ・プレイを楽しんだり、作曲のリズム・ガイドにしたり、曲のアレンジにも存分に活用できます。EOSならではのシンプル操作で自由な音づくりが楽しめるイージー・エディット機能も用意。音色ごとにサウンド・メークアップが楽しめるデジタル・ディレイも内蔵しました。●イニシャル・タッチ付き61鍵の標準鍵盤採用をはじめ、本格的な演奏機能も用意しています。スプリット・プレイはもちろんのこと、2音色をミックスして、厚みのある音色で演奏が楽しめるデュアル・プレイも可能。2音色の音程を微調整してコーラス効果をだしたり、自然楽器系音色とS.E.系音色をミックスしてトリッキーな効果を狙うことも。スプリット/デュアル・プレイのセッティングも簡単。単2乾電池×6本(付属)でも演奏が楽しめます。



DS55専用ソフトケース SC-DS55 ¥7,500(税抜き)

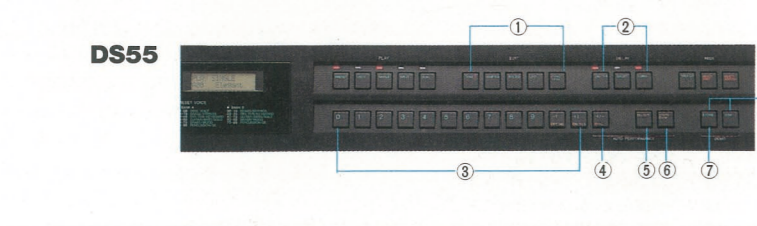
◎:メーカー希望小売価格です。

ACアダプター PA-3 ¥2,000(税抜き)



●EDIT  
①データ・エントリー・キー:音色パラメーターの選択およびデータ入力をおこないます。  
②エディット・キー:B200は左から、YS200/YS100は上からEG、TONE、LFO、NAME、EFFECT。  
③JOBキー:細かいエディットや様々な演奏設定をおこないます。  
④コンペア・キー:-と+を同時に押しすと、変更前の音色と比較できます。  
⑤ストア・キー:音色のデータを保存するときに押します。  
⑥デン・キー、+キー、-キー:音色パラメーターのデータを入力します。  
⑦EXITキー:通常の演奏状態(写真の画面)にワンタッチで戻れます。

●SEQUENCER  
①データ・エントリー・キー:データの入力をおこないます。  
②シーケンサー/プレイ・キー:シーケンサーを機能させます。  
③トラック選択キー:トラック1~8に対応。トラックごとに録音/再生可能。LEDによって各トラックの録音/再生状態を確認できます。  
④レコード・キー:録音待機の状態にします。  
⑤ストップ/コンティニュー・キー:録音/再生の終了、および指定位置からの録音/再生をおこないます。  
⑥スタート・キー:録音/再生を開始します。  
⑦音色選択キー:トラックごとに音色を選びます。  
⑧JOBキー:演奏データの編集・保存をおこないます。  
⑨デン・キー:演奏に使う音色の番号などを入力します。  
⑩EXITキー:通常の演奏状態(写真の画面)にワンタッチで戻れます。  
\*⑧と⑨を同時に押しすとデモ演奏が聴けます。



●EDIT  
①エディット・キー:左からTONE、AMP EG、BRL EG、LFO、FUNCTION。  
②デン・キー、-1キー、+1キー:音色パラメーターのデータを入力します。  
③ストア・キー:音色のデータを保存するときに押します。

●AUTO PERFORMANCE  
④ディレイ・キー:ソロ音色のディレイON/OFFを選択できます。  
⑤デン・キー、-1キー、+1キー:タイトル、ソロ音色の選択など演奏の準備をします。  
⑥シンク・キー:鍵盤を押したタイミングでパターンが切り換わります。  
⑦オート・パフォーマンス選択キー:オート・パフォーマンスを機能させます。  
⑧スタート/ストップ・キー:演奏開始の待機状態にしたり、演奏を終了させます。  
⑨DEMOキー:2つのキーを同時に押しすとデモ演奏が聴けます。

Let's Perform TETSU SOUND!

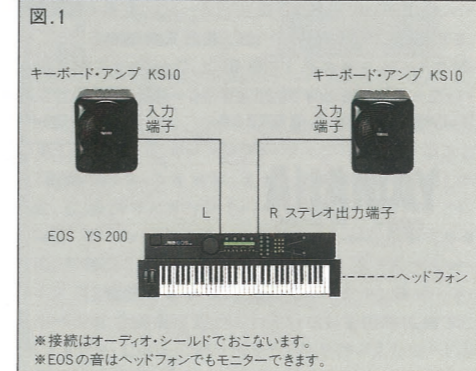
EOSボイス・カードRCD-1000\*小室哲哉®(YS100/YS200/B200用)  
100音色収録/「COME ON EVERYBODY」のシーケンス・データ収録/小室哲哉のインタビュー、写真満載のブックレット付 ¥9,800(税抜き)

カード1枚で。瞬間、君は、小室哲哉のキーボード・ブースに立てる。  
TMネットワークの曲を、まるで小室哲哉になった気分でもパフォーマンスできるゴキゲンなアイテムがこれ。「EOSボイス・カードRCD-1000 小室哲哉」。このカードには、「CAROL」のシミュレーションをはじめ、小室哲哉のクリエイティブなサウンドを100種類も収録。TMネットワーク・ツアー「CAROL」のステージで、小室哲哉が実際に演奏した音色もあります。\*TETSUの音で、TMを弾ける\*なんて、これはもう憧れに息接して感じ。EOS (B200/YS200/YS100)の本体カード・スロットにセットするだけで、楽しめます。

## EOS Joyful Application Q&A システムを組むと、EOSがもっと楽しくなる!

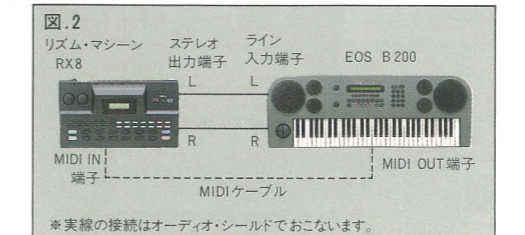
1 Q:音をだすには、どうすればいいの?

A:キーボード・アンプKS10と接続します(図.1)。KS10はパワフルな低音が魅力。EOSはステレオ出力仕様のため、KS10を2台用意するのがベストです。音量はEOSでも、KS10でも調整できます。またお手持ちのラジカセやミニコンポにライン入力(AUX IN)端子が付いていれば、そこに接続して音をだすこともできます(図.4)。



2 Q:リズム・マシンと一緒に楽しむには?

A:「きちんとしたビートがあると、EOSの世界が広がるし、一つの音楽が広がるんだ」と、小室哲哉も言うとおり、TMの曲をアクティブに楽しむためにはリズム・マシンが必需品です。お薦めはRX8。高品位なリズム音をバックに、ダンスパルなプレイをどうぞ。B200の場合は、ライン入力端子にRX8を接続すればOK(図.2)。スピーカーでRX8とB200の音を同時に聴いて演奏できます。図.3がYS200/YS100/DS55の場合。ミキサーAM602とキーボード・アンプKS10を用意します。EOSとRX8の音量バランスはAM602で調整可能。ハイグレードな演奏システムが完成します。



3 Q:カセットに録音して友達に聴かせたいんだけど...

A:お手持ちのラジカセやミニコンポにライン入力(AUX IN)端子があれば、それに接続するだけで準備OK(図.4)。CDをダビングする感覚で、気軽にテープ録音できます。本格的なテープをつくりたい時には、ざばり、MTR(マルチトラック・レコーディング)にトライしましょう。カセットテープにEOSの演奏を次々と多重録音して、高度な作品づくりが楽しめます。MTRには、簡単操作で人気のCMX100がお薦めです。

